

第2次佐伯市総合計画（後期基本計画：地域活性化分野）の策定に係る意見

R4.9.12

1. 前期基本計画の取組状況をもとに、後期基本計画の取組内容の見直し案を記入ください。

ア 花の咲く地域づくりと観光振興	
(ア)	河津桜、ジャカランダ等花木の植樹

後期基本計画（案）			見直し理由	
ア	(ア)	河津桜、ジャカランダ等の花木の育成	修正	地形的な問題と越波による塩害の為、植樹場所を県道四浦港津井浦線から最勝海グラウンドに変更したことにより植樹本数に限りがあるため、目標値を見直す必要があると考える。
ア	(ウ)	かみうらガーデンファーム事業の継続、発展	修正	河津桜、ジャカランダ等の花木の植樹は、植樹個所の選定が厳しいため、既存事業の維持、発展が望ましい。

ア 花の咲く地域づくりと観光振興				
	(カ)	瀬会海岸に砂を入れてビーチパレー	廃止	現実的に事業化は厳しい。

イ 美しい町並みと快適・安心空間の形成	
(ウ)	地域の診療所、医師の確保

後期基本計画（案）			見直し理由	
イ	(ウ)	地域の医療体制の充実	修正	医師確保に限らず体制の維持が必要と感ずるため。
イ	(ウ)	地域の医療体制の確保	修正	医師の確保となると現状難しいこともあり、現在の巡回診療を引き続き行うことで地域の医療体制の確保を図る

イ 美しい町並みと快適・安心空間の形成				
イ	(キ)	新たなコミュニティ組織づくりの推進	追加	第2次佐伯市総合計画の変更に伴い、上浦地域での推進のため

2. 上記取組内容の意見・要望事項等あればご記入ください。

ア	(ア)	河津桜、ジャカランダ等の花木の植樹		いにいなめフラワーパークに関連&本数見直し
ア	(イ)	瀬会公園の桜の再生		公園への接続道路の改良を行うべき
ア	(イ)	瀬会公園の桜の再生		瀬会公園の整備
ア	(工)	観光ポイントの整備		観光ポイント同士の関連を考えてみる
イ	(ア)	地域の草刈り等への支援		新たなコミュニティとの関連付
イ	(イ)	県道改良と越波対策		特に歩道部分はウォーキング・サイクリング対応に
イ	(工)	高齢者の移動手手段の確保と支援		バスを待つ間に休む場所・施設が不足
イ	(オ)	移動販売の活用と買い物支援		宅配のシステムを考える必要はないか
イ	(カ)	子どもたちの各種体験支援		コロナの影響で停滞中で再考が必要
ア	(オ)	マグロを活用した地域振興		マグロ養殖業者の動向が重要となる。

3. その他 ※自由意見をご記入ください。

		豊後二見ヶ浦の発展・充実 ～暁嵐公園との観光ストーリー化～		
		空き家対策（移住・定住）の事業構築		
		指定管理施設の活性（しおさいの里、瀬会バンガロー）		
		公共施設の活用（旧最勝海中学校、天海展望台、旧海鮮レスト橋、旧豊水寮跡地、横平団地未売却用地、旧上浦駐在所跡地、蒲戸崎展望台、上浦幼稚園等）		
		観光ポイントとポイントを繋ぐ方法を考える必要と一目瞭然の案内板を効果的な場所に設置する必要があると思う。瀬会公園は核となりえる可能性があると思う。サイクリングロードやウォーキングロードを整備し、イベントを開催できるようにしてはどうかと思う。		
		振興局職員の間張りは認めるが、今後、地域の人材づくりも同時遂行する必要があると思う。少し遠回りでも地域人材を絡めて活動する必要があると思う。主役は地域人材だと思う。		
		上浦地域の前期基本計画は、他の振興局地域に比べると、具体的で分かりやすい反面、振興局の範疇では実現しにくいところがある。		
		住民が快適に安心して暮らせる地域づくりが必要だと考えます。少子高齢化は、どこも同じ事で活気がなくなってくるが、上浦は浦々で盆踊りをしたりと、まだまだ元気があると思います。そこに住んでいる住民が楽しめる催し物等があるとよいのではと思います。		

② マグロ養殖と花の咲くまち かみうら ～上浦地域～

【現状と課題】

上浦地域は、リアス海岸の景観が美しい、海洋を中心とした自然環境に恵まれた東西に細長い海のまちです。豊後二見ヶ浦や瀬会公園、暁嵐の滝といった数々の名所など、海と山の豊かな自然に恵まれています。特に、豊後二見ヶ浦の注連縄張替えや初日の出は市内外から多くの人々が訪れます。また、注連縄のワラが縁で竹田市荻町の人々との交流も続いています。今後は豊かな自然の保全に努めるとともに、特産品や観光資源の開発を進め、交流人口を伸ばし、まちの活性化を図ることが重要です。最近ではマグロ養殖が水揚げ日本一になりつつあり、特産品としての活用が期待されます。

しかし、本地域も少子高齢化が進行し、人口は今後とも減少傾向が続くものと予測されます。特に子育て世代の流出は深刻で、児童・生徒数が激減しています。高齢化や人口減に伴い、イベントや地域行事の開催、道路・水路の草刈り等の地域活動が困難になりつつあります。また、商店が減少し、食料品・日用品の購入が困難となり移動販売車が頼りの高齢者等が増えています。

住民一人一人の助け合いの精神や海・山などの恵まれた自然環境を有効活用しながら、道路・公園などの環境美化を図り、美しく清潔な町並みを創出し、魅力ある誰もが安心して暮らせる地域づくりを行う必要があります。

【これからの基本方針】

- ア 豊後二見ヶ浦や瀬会海岸などの恵まれた自然環境資源を有効活用するとともに、花木の植栽を進めます。きれいな花の咲く地域をつくることにより、地域住民に憩いと誇りを持ってもらい、地域を訪れる人々から愛されるまちとなることを目指します。また、特産品開発にも努め観光振興を図ります。
- イ 道路・公園などの環境美化を図ることによって、美しく清潔な町並みを創出していくことを目指します。また、身近な生活環境の基盤整備を図ることによって、誰もが快適に安心して暮らしていける生活空間が形成される地域を目指します。

【主な取組】

- ア 花の咲く地域づくりと観光振興
 - (ア) 河津桜、ジャカラнда等花木の植樹
 - (イ) 瀬会公園の桜の再生
 - (ウ) 上浦へのお花見ルートの確立
 - (エ) 観光ポイントの整備
 - (オ) マグロを活用した地域振興
 - (カ) 瀬会海岸に砂を入れてビーチバレー
- イ 美しい町並みと快適・安心空間の形成
 - (ア) 地域の草刈り等への支援
 - (イ) 県道改良と越波対策
 - (ウ) 地域の診療所、医師の確保
 - (エ) 高齢者の移動手段の確保と支援
 - (オ) 移動販売の活用と買い物支援
 - (カ) 子どもたちの各種体験支援

重点プロジェクト

花の咲く上浦づくり

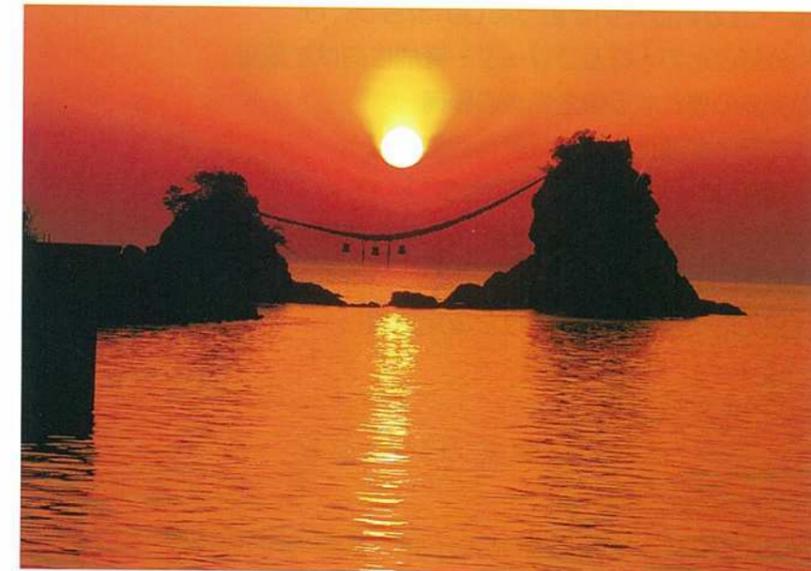
四浦半島の河津桜（開花：2月）は津久見市側の活動により有名になり、多くの観光客が訪れています。一部の人々は上浦を經由していますが、上浦側にも河津桜を植樹することにより四浦半島全体を河津桜の名所とし、佐伯IC⇒上浦・四浦⇒津久見IC、津久見IC⇒四浦・上浦⇒佐伯ICへの観光客の流れを作ります。また、世界3大花木のひとつであり、青い桜とも呼ばれるジャカラнда（開花：5～6月）を海沿いの公園をメインに植樹します。あわせて、瀬会公園の桜等、既設の花木の活性化を図り、地域住民の憩いの場、交流人口の増加・地域の活性化の手段とします。

生本マグロの活用

上浦には本マグロの養殖を行っている会社があり、主に関東方面に出荷しています。また、新たに出荷を始める会社もあり、上浦産本マグロの水揚げは日本のトップクラスになりつつあります。しかし、このことは広く認知されてはいません。上浦産生本マグロの存在と美味しさをアピールしながら知名度を上げるとともに、マグロ料理を提供する拠点づくりを進め、交流人口の増加・地域の活性化を目指します。

【目標指標】

目標内容	基準値 平成29年度（2017年度）	目標値 平成34年度（2022年度）
河津桜の本数（総数）	111本	600本
ジャカラндаの本数（総数）	0本	50本



豊後二見ヶ浦